

広報

いまり

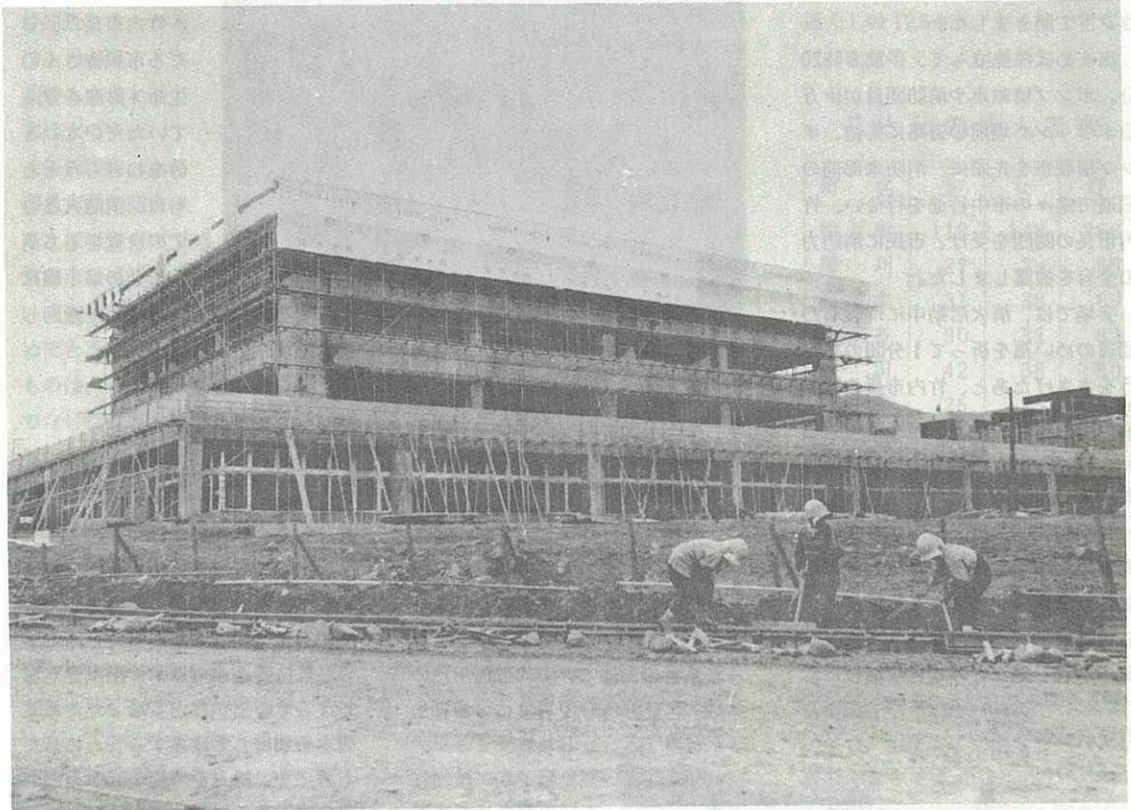
市の人口

1月1日現在	
総人口	59,290 人
男	27,781 人
女	31,509 人
前月比	+ 82 人
世帯数	14,922 世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和48年2月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

№.228



— 5月末完成を目標に工事を急ぐ市庁舎 —

(1月26日写す)

市のシンボルである市庁舎は現在、議場や議会議務局など議会部門のはいる別館2階を除きコンクリートの打ち込みをすべて終わりました。

6月には、伊万里湾や市街地を一望する堂々たる市庁舎が立花台地に完成する予定です。

広報こよみ

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 3日 旧正月 | 13・27日 交通事故相談（市民生活室） |
| 4日 立春 | 15日 無料法律相談（市民生活室） |
| 7日 節分 | 28日 全国火災予防運動はじまる |
| 11日 スポーツ少年団剣道大会（勤労青少年スポーツセンター） | |
| 建国記念日 | |

あいさつでつくる明るいほくのまち

48' **2** 月

積載車など堂々の行進

出ぞめ式に1,400人が参加

消防の出ぞめ式は、1月6日、消防車・ポンプ積載車31台と消防団員など約1400人が参加、国見合グラウンドで開きました。

出ぞめ式に先立って、午前8時20分、ポンプ積載車や消防団員が伊万里ボウリング場前の道路に集結、ポンプ積載車を先頭に、消防本部前の国道で堂々の市中行進を行ない、竹内市長の閲団を受け、市民に消防力の全容を披露しました。

会場では、消火活動中に殉職した団員のめい福を祈って1分間の黙とうをささげたあと、竹内市長の観閲前田市消防団副団長・多久島消防長などから人員・服装・姿勢の点検を受けました。

特別訓練展示は、東山代分団の小隊訓練や昨年の県消防操法大会に出場した黒川分団の同時2線延長による自動車ポンプ操法が公開され、士気あふれる動作とみごとな演技に参

加者から大きな拍手が湧きました。



消防はじめ式では、新入団員の辞令交付につづき、5人の新入団員を

代表して、伊万里分団の吉富稔さんが、「消防の意義を自覚し、市民の生命・財産を守るため職務を遂行します。」と力強い宣誓を行ないました。また、優良消防団員12人の表彰や県消防操法大会に出場した黒川分団の自動車ポンプ隊に竹内市長から感謝状が贈られました。

竹内市長は、日ごろ市民皆さんの生命・財産を守っていただいている労をねぎらうとともに、消防人としての自覚をもち消防活動の第1線に

たって更に努力してほしいと激励しました。

福川内に簡易水道を新設

給水開始はことし7月から

福川内簡易水道の起工式が、1月12日、午前10時から建設工事を請負った業者の主催で、山代町福川内の現場で行なわれました。

起工式には、竹内市長をはじめ市議会議員・地元関係者など約40人が出席、工事の安全を祈りました。

同地区は、山代炭鉱の鉱内水を利

用して、飲料水に使っていましたが昭和37年に同鉱が閉山したために十分な維持管理ができず、配水管も古くなって破損がひどくなったため鉱内水を利用して建設することにしたものです。総工費は約1300万円で取水施設やろ過池・配水池などを建設、配水管約1270メートルを敷設して消火栓3か所・福川内地区内の家庭約60戸・250人に1日60トン进行水することになっています。

なお、工事は6月までに終わり7月から給水できる予定です。



の中でインフレが抑制できなければ元も子もなくなるしかも、抑制よりもインフレ助長の様相がむしろ強い状態にある。

インフレを防止する最大の策は、なによりも国民一人一人が一つずつでも節約をするということにむかう姿勢にあると思われる。しかし、いまの若い人に節約という言葉がわかるだろうかと思う。消費財は大いに使って、しかも、使ったらかい捨ててということがいまの常識であるから、できるだけ節約して使い、場合によってはさらに再度の使用方法を考えるなどは、その思考方法の中にはないのかも知れない。いまは使うものより捨てるものの方が多いため、使うものの価値がわからなくなってしまう。

大型予算が大型生産、大型消費、大型廃棄と一連の大型化の連続を呼び起こすだけに終わらないようにどこかにその大型化をストップする措置がとられなければならない。

この一年で、そのような結論がでたときに、こんどの予算がトリレンマを解決することになると思われる

自覚も新たに921人が成人

お祝いにマキとツツジを贈る

成人式は、1月15日、市民会館大ホールで開きました。

ことしおとなの仲間入りをした人は、男436人・女485人、あわせて921人です。

午前10時、山崎市教育長の開会のことばにつづいて竹内市長は「新しい成人の皆さんお



めでとう。夢の伊万里市を実現するものは、やはり夢多き若人の皆さんでなければならないと思う。昭和48年は、立花台地開発や名村造船所進出に伴う伊万里湾の開発など、伊万里市の流れが大きく変わろうとしている。伊万里市の最も若い担い手である皆さんの発想の転換によって惰性の伊万里市ではなく、飛躍の伊万里市を築いてほしい。」と、責任と自覚をうながし祝福しました。

また、市内の篤志者と明静美運動推進協議会から寄贈された市の花木「マキ」450本・「ツツジ」500本をお祝いに贈りました。

成人を代表して塚本智子さん（波多津町）は、「先の衆議院議員総選挙で、はじめての一票を投じた。おとなに交って投票しながら、社会の一員として認められた実感とともに

不安を覚えた。これからの言動が自身の責任になると思えば不安はつ

るばかりです。名村造船所の進出により、伊万里市は変わっていくことと思う。このような発展途上に成人式を迎えたわたしたちには大きな期待が寄せられていることでしょう。わたしたちが生まれ育った郷土の役に立つ人間になるようこれからの人

生を一步一步踏みしめていく覚悟です。」と誓いのことを述べました。式のと、大川小学校児童の合唱や伊万里小学校児童による器楽合奏伊万里中学校・伊万里商業高校生徒の合同ブラスバンド演奏などが行なわれ成人を祝いました。

恒例の中島楯争奪各町対抗団体マラソンは、中央公民館から築港折り返えしの12.5キロメートルで行なわれ、山代町チームが優勝しました。

ことしの成人者数

町名	男	女	計
伊万里	118	148	266
黒川	27	29	56
波多津	31	38	69
南波多	30	32	62
大川	42	38	80
松浦	25	25	50
二里	55	43	98
東山代	36	54	90
山代	72	78	150
計	436	485	921

障害福祉年金の申請を

障害年金とは、寝たきりで、誰かの世話を受けないと一人では日常の生活ができない重度の障害者や、精神薄弱・心機能障害・腎臓・肝臓病血液の疾患のような、内部障害があり、その症状が固定し、治療してもなおる見込みがない人に支給されるものです。こうした障害をもっているかたで手続きをしていないかたはありますか。市役所市民課に一度

ご相談ください。
なお、手続きに必要な書類などは次のとおりです。
・戸籍抄本・住民票謄本・印かん
恩給や年金などをうけている場合はその証書をご持参ください。
老令福祉年金も満70歳になったらはやめに申請してください。手続きに必要な書類などは、障害年金の手続きと同じです。

一月十五日の閣議で、昭和四十八年度の政府予算案が決定したが、一般会計の十四兆二千八百四十億円に「イイヨニハシレ」とゴロ合わせをして、その幸先のよさを占っている。
「イイヨニハシレ」は良い世の中に走りこむ、あるいは、りっぱに走り出すという意味にとれば、まことに結構な予算になるが、もしも、勝手に走り出してくれという意味にでもとられると無責任な予算になる。しかし、いづれにしてもこれからの使い方が大事で超大型予算であるだけにその使い方しだいではどんな方向に走り出すかわからない。愛知蔵相は、福祉向上インフレ抑制・黒字是正による円再切り上げ防止の三つのジレンマを同時に解決する日本経済のトリレンマ打開財政の確立をはかったと自賛しておられるが、そ



「去年の救急車出動300件」

——大半は交通事故による負傷者——



消防署は、昭和47年中の救急活動状況を発表しました。

出動件数は300件で、交通事故などによる傷病者306人を搬送しています。46年に比べて59件・76人ふえています。

搬送者の内訳は、交通事故が最も多く140人で、全体の45.8%を占め、ついで急病82人(26.8%)・病院から病院への転送28人(9.1%)・一

般負傷24人(7.8%)・工事現場などでの労働災害13人の順序となっています。

町別では、交通の混雑する202号線に沿った大坪地区73件・伊万里53件・二里37件で特

に、伊万里川の拡幅で橋のかけ替えの行なわれている伊万里地区は、46年(28件)の約2倍になっています。少ない地区は黒川・波多津の7件です。

月別にみると、8月の33件を最高に、4月・10月が31件・7月29件が目につきます。また、1週間の救急出動状況は、日曜が50件・金曜45件水曜・土曜44件で、1日のうちで一

番多いのは、午前10時から12時までの40件です。なお、勤めをおえてから家に帰る午後6時から8時までの2時間で、39件発生しています。

救急活動業務を43年と比較すると5年間で約2倍になっています。これは、自動車の急増に伴う交通事故や農業の機械化・家庭で使う機械器具の普及などによるものと考えます。車を運転する人はもちろんのこと歩行者も交通ルールをよく守り、機械器具の使用にあたっては、使用法を読み、正しく使うことがたいせつです。

春ともなれば、冬の緊急ははぐれて気がゆるみ、居眠り運転などによる事故が多発します。からだの疲れを十分にとりたいものです。

消防署の救急隊は、けがをした人や急病人を運ぶだけでなく、患者の容体によって救急措置を行ない、早く医師に渡すことが任務です。一刻を争う患者を乗せているかわかりません。救急車が見えたら道路の中央をあげ、救急活動を妨害しないようにしましょう。

電気の知識

電気の道をふやして
安全・べんり・快適に

電気の通る道を回路といいます。

1回路とは、電灯・テレビ・冷蔵庫などすべての器具を一つの配線から使うことです。

1回路から使える電気の量は1,500ワットで、これ以上の電気が流れるとブレーカー(安全器)のスイッチが切れ、家中の電灯、電気器具が全部使えなくなります。

電灯・電気器具を別に分け、専用の道をつくってやればこんな不自由はしなくてすみます。

最近のように電気器具がふえますと2回路以上は必要です。市内の電気工事店にお申し込みください。

市役所前に電光掲示板

交通事故防止のため警察が設置

「事故ゼロへ 歩くあなたも責任者、」惜しむなブレーキ 頼るなハンドル、と、歩行者や自動車の運転者に交通安全を呼びかけるカッティングメーター(電光掲示板)と市役

所の位置を示す案内板が、市役所前に設けられました。

電光掲示板は、ふえる交通事故から市民の安全を守ろうと、工事費6万円を投じて伊万里警察署が設置したものです。

これには、市役所の入口を示す案内板もつけられ、いままでも入口がわからず困っていた外来者からも喜ばれています。

敷地は九州電力の提供です。



自分のしたこと

自分でやる

伊万里町住民

伊万里川の拡幅工事や立花台地の開発がすすむにつれ、町の中をタテ・ヨコに走る小さな路地も舗装がすすめられ、伊万里の町がその姿を一変しようとしていることに一まつさびしさと、時代のうつりかわりを感じます。

わたくしは自分の健康を守るために毎朝散歩をすることを日課としています。散歩をしていて、いつも目につくこと

は、電柱などにはられた時期はずれの求人広告や商店大売り出しのポスター・最高裁判所裁判官国民審査の「この裁判官に×をつけよう」といった紙です。どうしていつまでもこのような紙が残っているのか不思議でなりません。市民に呼びかけることは結構ですが、後始末をしないのはなぜでしょう。



いま一度、自分たちの町をきれいにする意味からも自分の身のまわりをよく見てほしいと思います。権利と義務をはきちがえ、すべてを行政の手落ちにしてはいいいだらうか。

自分たちでできることは自分たちでやるといういきごみを持ちたいものだといつも思いながら歩いていきます。

昔の人は、自分のしたこととに責任をもち、はらせてもらおうという感謝の気持ちを忘れず、きちんと後始末をしたものです。

また、各家庭が出すごみ袋にしても、毎週月曜日が不燃物の回収日とわかっていながら、庭や店先に出している。町をきれいにしようという心構えがたりないと思います。よその町はどうかわからないが伊万里へ来た人はどのよう感じるだろうか、おそらく「なんてだらしない町だろう」と思うでしょう。

竹の古場 大平山 両公園に遊び施設

家族ぐるみで自然を楽しもう

展望のすばらしい大平山と竹の古場公園に遊び施設ができました。

5月に行なう竹の古場公園のつつじ祭りなど、両公園を訪れる家族ぐるみの観光客がふえたことから工費50万円をかけて建設したものです。大平山公園にブ



ジャングルジム・竹の古場公園にはシーソー・すべり台・鉄棒・ジャングルジム・安全ブランコをそなえました。

大平山公園は、春から秋にかけてなめらかなスロープを利用して草スキーを楽しむことができ、造成工事中の七ツ島工業団地や伊万里の市街地が望めます。

また、竹の古場公園は、眼下に波静かな伊万里湾がひらけ、久原工業団地や晴れた日には福島橋を見ることができます。なお、5月になれば約5,000本のつつじが咲きみだれて登山者の疲れをいやしてくれます。

家族と自然を楽しみながら、変ぼうする伊万里湾をながめ、山野をさんさくしてはいかがでしょう。

— 記事訂正 —

1月号の記事に次のようなあやまりがありました。おわびして訂正します。

- 3頁右側の「伊万里市での候補者別得票数」のうち保利茂（自前）5,500とあるのは5,550のあやまりです。
- 8頁上段の市内一周駅伝大会の記事中、中央下から3行目の「2位の伊万里町」とあるのは「2位の二里町」のあやまりです。

70歳以上のかたは

老人医療費受給者証の申請を

受付は福祉事務所か出張所で

ことし1月から70歳以上の老令者の医療費が全額無料になりました。

70歳の誕生日が近づいたら、70歳になる月の前月までに申請をすませてください。申請するときは、国民健康保険証または健康保険・印かん

国民年金受給者は国民年金証書をもって市福祉事務所か市役所出張所で老人医療費受給者証の申請をすませてください。

申請は、本人でなく家族のかたでも結構です。

凶悪犯人捜査にご協力を

うたがわしかつたらすぐ警察へ

あなたの近くに凶悪犯人がひそんでいる……こうしたことは考えられないことではありません。

全国の警察から指名手配され、そのゆくえを追及されている人は1万3,000人にも達しています。

これらの犯人は、殺人や強盗・強かんなどの凶悪犯をはじめ、粗暴犯といわれる暴行・傷害・恐かつの犯人、あるいは窃盗・知能犯などいろんな罪をおかして逃回っているものです。したがって、また罪をおかすおそれがあります。

このため警察では、毎年2月を全国指名手配被疑者捜査強化月間と定め、全国の警察をあげて犯罪者の検挙につとめることにしています。

しかし、これにはなんといっても市民皆さんのご協力が必要です。

昨年の月間には、62人の凶悪犯を検挙しています。このうち約30パーセントに当たる19人は、みなさんの通報など協力によるものです。

この逃げ回っている犯人たちが再び罪をおかさないように、警察は手配書を全国の警察署や派出所・駐在

所などの掲示板にはり出してみなさんからのご協力を呼びかけています。「もしや……」と思われる、ちょっとしたことが犯人逮捕のきっかけになります。

犯人の写真に見覚えのある人はすぐ警察に連絡しましょう。

猟銃・火薬の始末は嚴重に

狩猟期は、2月15日で終わります。狩猟期が終わると、これまでの緊張がうすれ、猟銃や火薬類の保管がおろそかとなり、例年いろいろな事故が各地で起こっています。

昨年も狩猟シーズンが終わったあと、全国各地で猟銃や猟用火薬の盗難・子どものもて遊びによる事故をはじめ、犯罪にまで使われるなど事故が少なくありませんでした。

このような事故を未然に防ぐためには、安全なところに保管して必ずカギをかけましょう。なお、火薬類は、狩猟期間中に使ってしまうよう

計画的に買い入れることが一番望ましいことです。

また、散弾実包に使用されている無煙火薬は、長くなると変質して思わぬ事故を起こす原因になります。そのため法律では、製造後1年を経過すると、安定度試験をしてからでないと使ってはいけなと規定しています。もしも、狩猟期後も火薬が残るようなことがあれば、警察に連絡して射撃場で使ってしまうか土木事務所の許可をうけてするなどなるべく手許に残さないことが事故を防ぐ方法です。

- ◇期日 2月16日から20日まで
- ◇場所 伊万里玉屋
- ◇展示内容 ・食品添加物の知識
・合成洗剤の安全性・クリーニングの事故防止など
- ◇主催 県消費生活センター・市役所市民生活室

どうしても自宅に保管しなければならないときは、じょうぶな保管庫などに入れてカギをかけ、銃とは別にしまうようにしてください。

工場の新増設は事前届出を

市は企業誘致の促進と、市内既存企業の振興を図るため昭和38年から「工場等の設置奨励に関する条例」を設けて、市内に新しく立地する企業や新増設する既存企業などに対して、敷地の斡旋や資材・資金の調達などの便宜を図るほか、一定期間の市税免除や奨励金制度を設けています。この優遇措置の適用を受けるためには、適用を受けたい工場などの建設工事を始める前に、市が決めている

る申請書を提出し指定を受けることになっています。

ただし、同条例の第3条の2によって、事前に申請をしなかったときは、この優遇措置を適用しないことになっています。

この制限規定は、公害など未然防止のために設けたものです。関係企業のかたはぜひご協力ください。申請書の内容など、詳しくは市商工観光課におたずねください。

妊婦検診と相談

- 2月13日 9時30分～12時
波多津町小島医院
- 〃 13時30分～15時
東山代町内山医院
- 20日 13時30分～15時
南波多町小島医院
大川出張所（相談）

昭和48年度
胃ガン・子宮ガン集団検診

▷対象者 30歳以上のかた(胃の治療をしている人・妊婦を除く。)

▷申し込み先

・胃ガン検診 各町駐在員(区長)

・子宮ガン検診 各町婦人会支部長

▷申し込み期限 2月28日

▷料金 500円(本人負担300円)

▷実施期間と地区

4月~6月 二里・東山代・山代

7月~9月 南波多・大川・松浦

10月~12月 牧島・黒川・波多津

1月~3月 伊万里・大坪・大川内
▷通知

日時・場所などは、後日文書をもってお知らせします。

住民健康診断

▷対象者 満15歳以上で、昨年9月10月に実施した健康診断を受けていないかた。

ただし、高校・大学・官公署・会社員および接客業の従業員を除く

▷料金 無料

▷日時と場所

20日 10.00~11.30 大川内山公民館
" 13.00~14.30 市村公民館
21日 10.00~12.00 南波多公民館
" 13.00~14.30 府沼上公民館
22日 10.00~12.00 柳井町公民館
" 13.00~14.30 中央公民館

次のかたからご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。
社会福祉事業費へ
▼香典返しを寄付
○池田利之(二里町西八亡父吉之助)

- 松尾武男(黒川町福田亡妻ハツ)
- 吉原弘(松浦町岳坂亡父常次)
- 松川架斐松(大川町立川亡叔母青木シズエ)
- 津房哲朗(瀬戸町築港亡妻光子)
- 井手民夫(脇田町亡父和一)
- 出雲勉(東山代町川内野亡父強)
- 斉藤庄七(大坪町下古賀亡四女文江)
- 吉永公也(新天町亡母テル)
- 田口進(松浦町中野原亡父伊作)
- 多久島ヤス子(二里町八谷棚 亡父熊次)
- 杉原昇(松浦町久良木亡祖母サカ)
- 淵上博(大川内町平尾亡養父亀次)
- 前田佐市(山代町楠久津亡母フジ)
- 中村ツルエ(二里町大里亡父重雄)
- 田口善治(大川町駒鳴亡母アイ)
- 梅崎三代司(大川町駒鳴亡母マス)
- 江口季武(南波多町井手)

- 野 亡母ヨリ)
- 浦壁ミツエ(伊万里町浜町 亡父達雄)
- 松尾哲司(渚 亡母麻子)
- 中島修(伊万里町上仲町 亡父清一)
- 福田ミス(二里町川東 亡妹本山タヨ)
- 山下正(南波多町府沼上 亡妻ハマ)
- 松尾明(大川町井手口 亡父弥太郎)
- 北川愛一郎(立花町東川 亡妻チヨ)
- 福原俊輔(東山代町長浜 亡父俊一)
- 畑山重生(波多津町板木 亡母サダ)
- 高庄清実(大川内町市山 亡父松次郎)
- 鬼木精一(立花町三四六 七 亡母ウラ)
- 河村兼雄(山代町浦の崎 亡母力子)



ありがとうございました

- 水田国一(山代町楠久 亡母ヨネ)
- (累計四三三万九二六円)
- 教育振興奨励基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 辻スミ子(松浦町山形 亡父義鷹)
- 松林勲(山代町立岩 亡父伝一)
- 岩橋鉄次(上松島 亡義父木寺治兵衛)
- 森規(大坪町祇園町 亡父丈太郎)
- 浦壁ミツエ(伊万里町浜町 亡父達雄)
- 田中章(波多津町煤屋 亡三男洋幸)
- 高庄清実(大川内町市山 亡父松次郎)
- (累計九七八万三六八〇円)
- 市庁舎建設基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 井手正俊(大川町井手口 亡母ヨツ)
- 高庄清実(大川内町市山 亡父松次郎)
- (累計二二三万八六五〇円)

- 老人福祉センターへ
- ▼香典返しを寄付
- 井手民夫(脇田町 亡父和一)
- 四十七年度歳末同情金へ
- 式万五千円 松原正市(松島町)
- 老万六千八百八拾円 ポーイスカウト伊万里一団
- 式千式百五拾円 匿名
- 五万四千円 伊万里学園高等学校生徒会インターアクトクラブ
- 老万円 伊万里仏教会
- 老万五千円 伊万里青年会議所
- 式千四百拾円 伊万里青年学級
- (累計一 一万八九七二円)
- (昭48・1・20現在)

こどもページ

伊万里の未来はこうなる

黒川小4年生30人のアンケート

名村造船所の進出が決まり、いまその用地造成が進められている地元黒川小学校の4年生のおともだち30人が、きょうの12月、「土地の開発や社会の発展を考える」社会科学習の一つとしてアンケートをとりました。

それをまとめて市役所にとどけていただきましたので、あらましをつたえます。

みなさんも名村造船所ができるようになったことでいろいろなことを考えていることと思います。

黒川小学校のおともだちがまとめたアンケートの結果をもとに、いっしょに考えてみましょう。

黒川小学校の30人は、次のような未来のすがたを考えています。

▷まず、名村造船所ができることでよくなること

〈仕事やはたらくこと〉

- ・仕事の種類がふえるだろう
- ・人口がふえ、にぎやかな町になるだろう
- ・工場につとめる人がふえ、大きな町などに出かせぎに行っていた人が少なくなるだろう
- ・よその町からもはたらきにくる人が多くなるだろう
- ・漁業をしていた人が、工場にはたらくに行くだろう
- ・いろいろな工場がふえるだろう
- ・店やデパートがふえるだろう
- 〈交通や道路〉
- ・道路が広くなり、舗装されるだろう

・市道は県道に、県道は国道になるかもしれない。

〈そのほか〉

- ・家がつぎつぎに建つだろう
- ・団地ができるだろう



▷造成すすむ七ッ島工業団地◁

- ・新しいおともだちがはいてきて学校が大きくなる
 - ・プールもできるだろう
 - ▷心配なこと
 - ・田や畑を売る人がふえ、田や畑がなくなるかもしれない
 - ・人口が多くなり、品物が高くなるだろう
 - ・道路がせまいうえに、家がふえると、火事がおこったらこまる
 - ・道路がこんごつし、交通事故がふえるだろう
 - ・木が切られ、島がこわされる
 - ・海に公害がでるだろう
 - ・煙突がふえると、星などあまり見られないようになるかもしれない
- 黒川小学校のおともだちは、このような不安をもっています。
- 造船所や工場などが七ッ島のあたりにできることで、みなさんが心配

していることをもとに市や県・名村造船所の計画を勉強してみましょう

まず、道路の問題では、市は現在七ッ島工業団地へ行ける工業用の道路をつくる計画をたてています。人がたくさん住んでいるところへ道路をつくれれば、交通事故がおこるばかりか、大型自動車のだす排気ガスや高い音による公害がでます。このようなことから、人がたくさん住んでいないところに道路をつくることにしています。

消防は、七ッ島工業団地に近代的な装備をした消防自動車や消防署員をおいて七ッ島工業団地の中の火事やまわりなどの火事にそなえることにしています。

テレビやラジオ・新聞などで、みなさんが知っているように、日本のいたるところで問題になっているのは、工場などからでる煙やきたない水、高い音による公害です。

もちろん、このような公害によって、みなさんや伊万里に住んでいる人に害をあたえるようなことがあってはなりません。そのため、市は県や名村造船所とよく話しあって、公害を防ぐためのとりきめをすることにしています。

造船所は、公害はおきないともいわれるように、船をつくるにしても昔のように鉄のピョウで鉄をつなぎあわせていたのから、すべて電気でつなぐことによってつなぎあわせる電気溶接がつかわれ、高い音が出ないようになっています。

煙による空気のごれや工場から出る水にしても、みなさんがくらくらしていくためにさしつかえのないように国が基準をきめているのです。

市は、よその町にまけないりっぱな工場を七ッ島工業団地につくるようにいっしょうけんめいです。

社会科の学習の一つとして、造成工事の行なわれている七ッ島工業団地を自分の目でたしかめ、よくみておいてください。